

病害虫発生予察情報

向こう1ヶ月(9月)の予報

平成22年度 予報第5号

東京都病害虫防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

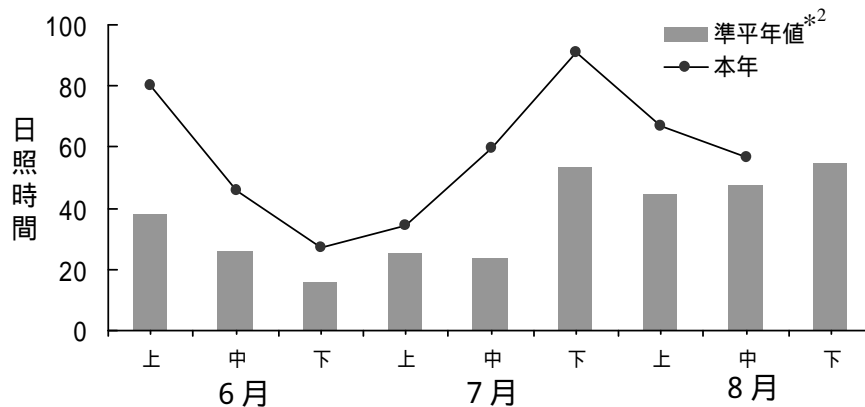
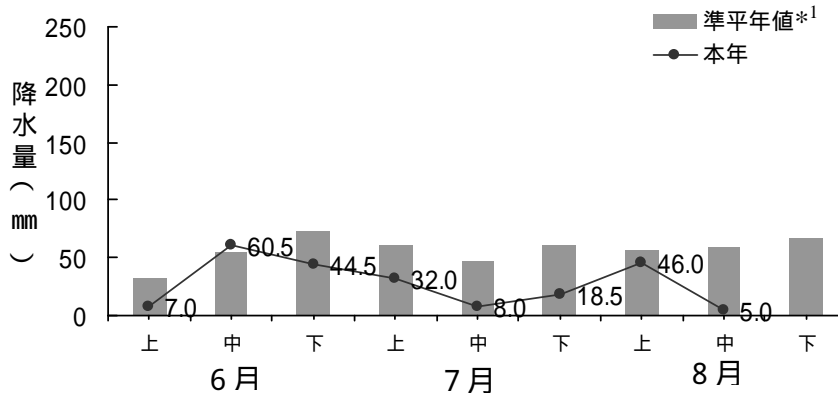
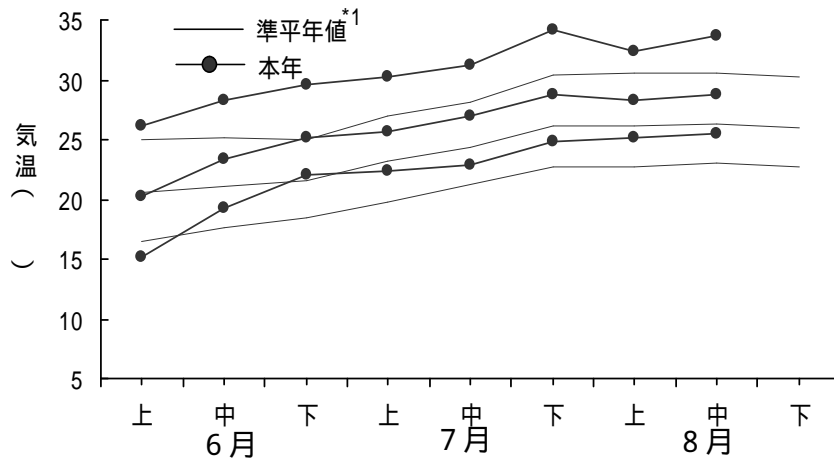
e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】平成22年8月27日 気象庁 地球環境・海洋部発表, 関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	10	30	60
	降水量	40	30	30
	日照時間	20	40	40

期間の前半は、気温が高く、雨が少ない状態が続く見込みです。

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の8月中旬までのデータを示した。
(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1: 1979-2000 の平均値, *2: 1987-2000 の平均値

9 月はハイマダラノメイガとタバココナジラミに注意しましょう！！

ハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）

アブラナ科野菜の生長点近くを加害するため、生育が停止したり、枯死することがあります。また、キャベツでは、3～4個のわき芽ができて、正常な結球ができなくなります。育苗及び定植期における防除を徹底しましょう！

タバココナジラミ

トマト黄化葉巻病を媒介します。抑制及び促成長期どりのトマト栽培ではタバココナジラミのバイオタイプQに効果の高い殺虫剤で防除を徹底しましょう！

【病害虫発生予報】（各根拠に記した（ ）内記号は発生助長要因の強度を示す）

イネの病害虫

1. いもち病（穂いもち）

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少～やや少である。（-）
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。（-）

防除上考慮すべき事項

- 1) 水田をよく観察し、現在、葉いもちの発生が認められる場合は、今後の天候に留意し薬剤を散布する。

2. 紋枯病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。（-）
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。（±）

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

3. 斑点米カメムシ（主にクモヘリカメムシ、他、ホソハリカメムシおよびイネホソミドリカスミカメ（旧称：アカヒゲホソミドリカスミカメ））

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 水田周辺の雑草地におけるすくい取り調査では、発生量はいずれの種類も少ない。（-）
- 2) ホソハリカメムシならびにアカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯への誘殺数は少～やや少なかった。（-）
- 3) 今後、出穂が進むと雑草地から水田へ侵入する。（+）
- 4) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。（+）

防除上考慮すべき事項

- 1) 穂揃い、開花の遅れている水田では発生に注意する。
- 2) 防除指針に従い防除する。
- 3) 地域ごとに一斉防除すると防除効果が高い。

4. トビイロウンカ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生を確認できない。(-)
- 2) 予察灯への飛来は現在まで少ない。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 本種は東南アジア等から梅雨期に飛来し、秋にかけて世代を繰り返し密度を増加させる(秋ウンカと呼ばれる)。
- 2) 著しく発生量が多くなると9月下旬から10月にかけて坪枯れを起こす。
- 3) 発生を見たら防除指針に従い防除する。

5. セジロウンカ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回による調査では、各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 予察灯への飛来はやや多い。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

果樹の病虫害

1. 果樹共通 チャバネアオカメムシ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 予察灯及びフェロモントラップへの飛来は平年並みである。(±)
- 2) 本種の主要な餌であるスギ、ヒノキ科植物の毬果発生量はやや少ないと予想される。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 園内を見回り早期に飛来状況を把握する。
- 2) 果樹園付近のキリなどの実に飛来してくる成虫の観察を行って、今後の発生量に注意する。
- 3) 袋がけなどで果実への加害を予防する。
- 4) 飛来数が多い場合は防除指針に従い防除する。

茶樹の病虫害

1. 炭疽病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

2. カンザワハダニ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では 8 月の寄生葉率は 0 % で少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生の多い園では防除指針に従い防除する。

野菜の病害虫

1. キャベツおよびブロッコリーの黒腐病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は少～やや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

2. コマツナおよびカブの炭疽病(露地)

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) 雨よけは本病の防除に有効である。

3. アブラナ科野菜類のコナガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、定植後のキャベツやブロッコリーでの発生は各地とも少ない。(-)
- 2) フェロモントラップおよび予察灯調査では誘殺数は少ない。(-)
- 3) 今後、増加期に当たる。(+)
- 4) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針を参照して作物ごとに防除する。

4. アブラナ科野菜類のハイマダラノメイガ(ダイコンシンクイムシ)

予報内容

発生量 多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生が平年よりやや多い。(+)
- 2) フェロモントラップには 8 月第 2 半旬に誘殺された。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。また防除指針のハイマダラノメイガの

項を参照する。

- 2) 播種後から寒冷紗などの被覆資材により成虫の侵入を防止する。
- 3) 寄生株率は圃場ごとの変動が大きい。

5. アブラナ科野菜類のキスジノミハムシ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではアブラナ科作物での発生は少ない。(-)
- 2) 予察灯への誘殺数は平年並みである。(±)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 播種後から寒冷紗などの被覆資材により成虫の侵入を防止する。

6. ナスのうどんこ病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

7. ナスのハダニ類

予報内容

発生量 やや少～並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

8. ナスのチャノホコリダニ

予報内容

発生量 並～やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生は一部の地域で認められる。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

9. ネギのさび病

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

10. ネギの黒斑病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

11. 野菜共通 コナジラミ類

予報内容

発生量 オンシツコナジラミ：やや少
 タバココナジラミ ：やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では西多摩地域ではオンシツコナジラミ、南多摩及び北多摩地域ではタバココナジラミが優占種となっている。いずれの種類もナス、トマトで発生が確認されているが、一部地域を除き、密度は低い。(± ~ +)
- 2) タバココナジラミは今後増加期にあたる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 0.4mm の目合いの防虫ネットや UV カットフィルムの展張など、物理的防除に努める。
- 2) 都内ではタバココナジラミのうちバイオタイプ Q が占めているため、タイプ Q に有効な薬剤を選択し、適正に使用する。
- 3) 発病株は発見次第、直ちに抜き取って処分する。

12. 野菜共通 ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地の圃場で少ない。(-)
- 2) フェロモントラップ調査では、誘殺数は平年並みである。(±)
- 3) 年間の発消長から見ると今後増加期に当たる。(+)
- 4) 気象予報によれば気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針を参考にして作物ごとに防除する。
- 2) 本種は突然多発することがあるので、今後、葉裏への産卵に注意する。

13. 野菜共通 カブラヤガ(ネキリムシ)

予報内容

発生量 多

予報の根拠

- 1) フェロモントラップ調査では、誘殺数はやや多い。(+)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 定植苗に被害が出たら周辺を掘り起こして捕殺する。
- 2) 防除指針を参考にして作物ごとに防除する。

14. 野菜共通 オオタバコガ

予報内容

発生量 多
予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地のトマト，ナス等で発生が認められる。また，一部の地域ではキャベツで発生が多い。(+)
- 2) フェロモントラップ調査では誘殺数は平年並みである。(±)
- 3) 今後，増加期に当たる。(+)
- 4) 気象予報によれば気温は高く，降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 果菜類の幼果や花き類の蕾を好むので排泄糞に注意，被害果や花雷を放置せず，速やかに処分する。
- 2) キャベツ，ハクサイ，トマト，ナス，インゲン，ピーマンなどのほか，バラ，キク，カーネーションなども加害する。
- 3) 作物ごとに防除指針を参考にして防除する。

キクの病害虫

1. アブラムシ類 (ワタアブラムシ・キクヒメヒゲナガアブラムシ)

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 予察圃場および巡回調査では，各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 年間の発生消長から見ると今後増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く，降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従って薬剤を散布する。

テレフォンサービス
0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

防除所ホームページアドレス
<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報，発生状況，防除方法などをお知らせ
しています。

防除指針オンライン版平成 22 年度版公開中！
(防除指針正誤表等最新情報をご確認下さい)

農薬に関する詳しい情報は，農林水産省ホームページの
「農薬コーナー」をご覧ください。

(<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>)